

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	Academic Written English I		
英文授業科目名	Academic Written English I		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	前学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法	演習	単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化基礎科目 I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 知能機械工学科		
担当教官名	樽井 武		
居室	東1-712		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tarui@bunka.uec.ac.jp	工事中

<p>【主題および達成目標】</p> <p>1. 様々な書き方を身につける（全項目を網羅するわけではない）</p> <ul style="list-style-type: none"> * しっかりした構成で論点の明確なエッセイを書く * 要約文を書く * 経験したことについて書く * 物事を描写する * レポート（報告文）を書く（プレゼンテーションの準備として） * ストーリー（物語）を書く * 説明文を書く <p>2. 自主的に読んだり書いたりする態度を身につけて、書きことばとしての英語に自信をつける</p> <ul style="list-style-type: none"> * パラグラフの基本構造を理解する（例：語・句・文の間の有機的なつながり（結束性・一貫性）、談話標識（リンクワード）、パラグラフの構成（序論・本論・結論）） * 英文の正しい構造（語順など）が直感的に認識できる力をつける * 様々なタイプのアカデミック・ライティングに慣れる * 読解力を増強する（例：書きことばとしてアカデミックな英語に多用される語彙に慣れる、新出語の意味を前後の脈絡から推測する、語の成り立ちに関する基本を理解する） * 様々なテーマ（例：社会、文化、科学技術など）やジャンル（エッセイ、物語、評論など）の文章を読みこなす能力を身につける * 様々なリーディングの技術を身につける（例：スキミング、スキヤニング、精読） * 英文を書くうえで「よくある間違い」に気をつける * 自主的学習に不可欠なスキルや知識を身につける（例：外国語としての英語の読み書き能力向上に役立つ様々な学習） <p>3. 批判的思考に必要となる基本的なスキルを身につける</p> <ul style="list-style-type: none"> * 意見を書く * 主張の裏づけとなる確固とした理由を挙げて書く * どのような視点で書かれているか、あるいは偏った考えに基づいて書かれていないかを判断する

電気通信大学 平成20年度シラバス

【前もって履修しておくべき科目】

なし。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

なし。

【教科書等】

Power-Up English JACETリスニング研究会編 南雲堂

【授業内容とその進め方】

a) 授業内容

授業計画（A4で2枚）を授業時に配布する。なお、関連図1を参照のこと。

(b) 授業の進め方

教科書のモデル学習を通して学習方法やまとめ方等を学んだ後で、学生は各自の興味に応じて個別学習を行う。その結果を様々な形で発表し、他の学生の評価を参考にしながら最終課題に取り組む。具体的には、自分の興味のあるトピックを選び、問題を設定し、様々な資料を利用して自分なりの解決策をまとめて発表するといった作業を英語（一部日本語）で行う。レポート・ポスターの作成やプレゼンテーション・ディスカッション等に取り組む。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法

1) 授業の2/3以上出席していること。

2) 課題等

R1, R2, R3: 学習するUnitの内容を、日本語および英語で要約し、語彙リストを添付する。

R4: 学習するUnitの英文（の一部）を読み録音する。

R5: 自分の選んだ課題をposterに仕上げる。

R6: 自分の選んだ課題をpresentationに仕上げる。

3) 英語のリズム学習: 講義の始め(T1)、中間(T2)、終わり(T3)に英語の表現を録音して評価の判定をする（関連図2）。各自の判定結果（初級・中級・上級）に応じてリズム訓練を自主学習として行い（関連図3）、結果をレポートにまとめる。

4) TOEICでの英語力の一部の客観的実力の証明

以下の項目を総合的に評価する。

・ R1, R2, ・ R3 7 × 3 = 21 % ・ R4 15 % ・ R5 & R6 50 % ・ リズム学習 14 %
・ 計100%

(b) 評価基準： 以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

電気通信大学 平成20年度シラバス

要求されている課題等が提出されており、以下の科目の教育目標をほぼ達成していること。

- a) 様々な書き方が身についている
- b) 自主的に読んだり書いたりする態度を身につけて、書きことばとしての英語に自信がある
- c) 批判的思考に必要となる基本的なスキルが身についている

【オフィスアワー：授業相談】


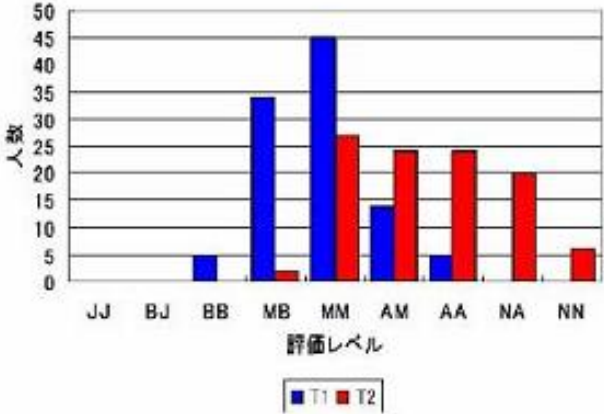
- * 火曜日 12:30 ~ 14:00 水曜日 13:00 ~ 15:00 金曜日 13:00 ~ 17:00
- * 簡単な質問は、e-mailでも受け付ける。
- * 時間を要する質問・相談はe-mailで予約すること。

【学生へのメッセージ】

受講する時点での学生の英語力は問わない。英語が苦手、普通、ちょっと得意、英語オタク、将来英語を武器に世界の舞台で専門技術を生かしたい・・・どんな学生でも歓迎する。ただし、1年間英語を自主的・総合的に学んで、TOEICテストの得点なら、100点くらいUPさせたいと希望する意思力・体力・実行力のある学生が理想的（ただし、本講義はTOEICテストの準備講座ではない・・・念のため）。講義・自主学习・言語自習室や図書館等を十分に活用し、技術者に必要とされる真の英語力の獲得を強く望む学生の履修を強く望む。

【その他】

- * R1-R3の録音および録音ファイルの作成は、講義の中で説明する。実際の録音は言語自習室で行う。
- * 録音や課題作成のためにUSBを使用するので、各自準備すること。
- * リズム学習の方法は、講義の中で説明する。実際の学習は現在作成中のe-learning 学習ソフトを参考に言語自習室で自主学习として行う。

関連図1	関連図2																														
<p>講義予定</p> <table border="0"> <tr> <td>1 講義の説明</td> <td>8 Unit 15 Reading</td> </tr> <tr> <td>2 Unit 13 Reading</td> <td>9 Unit 15 Writing</td> </tr> <tr> <td>3 Unit 13 Writing</td> <td>10 Unit 15 Discussion & Presentation</td> </tr> <tr> <td>4 Unit 13 Discussion & Presentation</td> <td>11 自分のトピックの研究(1)</td> </tr> <tr> <td>5 Unit 14 Reading</td> <td>12 自分のトピックの研究(2)</td> </tr> <tr> <td>6 Unit 14 Writing</td> <td>13 自分のトピックの研究(3)</td> </tr> <tr> <td>7 Unit 14 Discussion & Presentation</td> <td>14 研究発表(1)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>15 研究発表(2)</td> </tr> </table>	1 講義の説明	8 Unit 15 Reading	2 Unit 13 Reading	9 Unit 15 Writing	3 Unit 13 Writing	10 Unit 15 Discussion & Presentation	4 Unit 13 Discussion & Presentation	11 自分のトピックの研究(1)	5 Unit 14 Reading	12 自分のトピックの研究(2)	6 Unit 14 Writing	13 自分のトピックの研究(3)	7 Unit 14 Discussion & Presentation	14 研究発表(1)		15 研究発表(2)	<p>ICTのリズム分析・評価・学習</p>  <p>総合評価</p> <p>あなたの総合評価をこちらに表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> NN 非常に Native speakers に近いリズム NA Native speakers と上級者(A)の間のリズム AA 日本人の英語の上級者としてのリズム AM 上級者(A)と中級者(M)の間のリズム MM 日本人の英語の中級者としてのリズム MB 中級者(M)と初級者(B)の間のリズム BB 日本人の英語の初級者としてのリズム BJ 初級者(B)と英語学習経験の無い日本人の間のリズム JJ 英語学習経験の無い日本人のリズム 														
1 講義の説明	8 Unit 15 Reading																														
2 Unit 13 Reading	9 Unit 15 Writing																														
3 Unit 13 Writing	10 Unit 15 Discussion & Presentation																														
4 Unit 13 Discussion & Presentation	11 自分のトピックの研究(1)																														
5 Unit 14 Reading	12 自分のトピックの研究(2)																														
6 Unit 14 Writing	13 自分のトピックの研究(3)																														
7 Unit 14 Discussion & Presentation	14 研究発表(1)																														
	15 研究発表(2)																														
関連図3	関連図4																														
	<p>リズム評価 (T1 T2)</p>  <table border="1"> <caption>リズム評価 (T1 T2) 人数</caption> <thead> <tr> <th>評価レベル</th> <th>T1 (人数)</th> <th>T2 (人数)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>JJ</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>BJ</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>BB</td><td>5</td><td>0</td></tr> <tr><td>MB</td><td>35</td><td>2</td></tr> <tr><td>MM</td><td>45</td><td>28</td></tr> <tr><td>AM</td><td>15</td><td>25</td></tr> <tr><td>AA</td><td>5</td><td>25</td></tr> <tr><td>NA</td><td>0</td><td>20</td></tr> <tr><td>NN</td><td>0</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	評価レベル	T1 (人数)	T2 (人数)	JJ	0	0	BJ	0	0	BB	5	0	MB	35	2	MM	45	28	AM	15	25	AA	5	25	NA	0	20	NN	0	8
評価レベル	T1 (人数)	T2 (人数)																													
JJ	0	0																													
BJ	0	0																													
BB	5	0																													
MB	35	2																													
MM	45	28																													
AM	15	25																													
AA	5	25																													
NA	0	20																													
NN	0	8																													